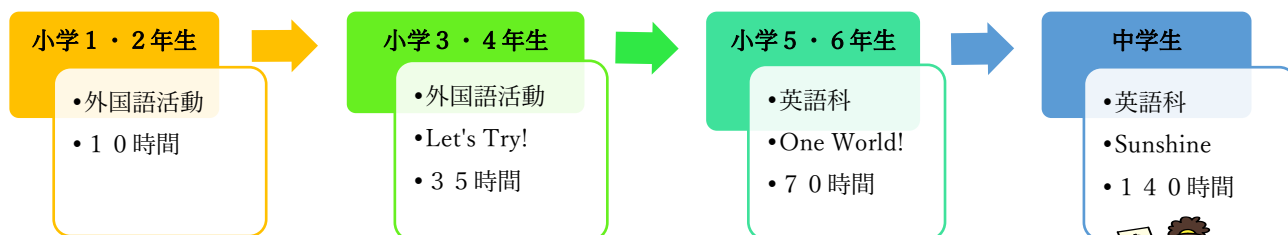


福江小学校の英語教育について

これからの社会を豊かに生きるためには、英語を話せる、英語を使えることが一つの要件になってきます。そのために福江小学校では、1年生から基礎的な単語や表現を使って、楽しみながら英語に慣れ親しんでいます。なお、本土と比べ離島部においてはネイティブな英語に触れる機会が少ないため、五島市の推進するプロジェクト G と足並みをそろえつつ、ALT の力を借りながら、できるだけ子どもたちが英語のシャワーを浴びることができるよう学習活動を展開しています。そのため、福江小学校の子ども達は、英語の時間が大好きで、ALT と一緒に、英語の時間を楽しんでいます！

福江小学校の英語教育の流れ



英語教育の成果と課題

【成果】

- ・1年生からALTと共に外国語活動に取り組み、ほとんどの児童が英語（外国語活動）に意欲的に取り組んでいます。また、高学年児童は、スモールトークに取り組むことで、英語を使って自分の思いを表現できるようになってきました。
- ・英語だけでなく、外国の文化を学ぶことで、世界中の国に関心をもつようになるとともに、改めて日本の文化や歴史を学ぶよい機会となりました。

【課題】

- ・英単語や簡単な会話を使った英語のゲームには楽しく取り組みますが、ALTとの会話をする際、恥ずかしがる姿も見られます。また、学年が上がるごとに、英語に対する苦手意識を持つ児童が少数見られるようになりました。今後は、学年に関係なく、誰もが英語を使って自分を堂々と表現することができるような学習（活動）を仕組んでいきます。



五島市で実施されているジュニアイングリッシュキャンプには、本校から8名の児童が参加し、ALTとの交流を楽しみました。

外国の文化に触れて、英語への興味関心が高まったようです。

英語（外国語活動）の授業は楽しいですか？

※児童へのアンケート

英語の授業や活動を楽しく取り組めるように工夫していますか？

※教師へのアンケート

